

# ハバネロ友の会 会報

9月号

2011年 9月 9日

## ハバネロ友の会会員様

### トピックス

新情報や季節  
の話題イロイロ。  
メール会員募集  
中。

今月の初めに近畿地方に速度のゆっくりな大型台風が襲来し、相当なハバネロのダメージを覚悟しておりましたが、予想に反して多少株が傾いたところもありますが、概ね大きな被害もなくほっと胸をなでおろしております。

生産者の中には極端なところ栽培技術1割であとは天気任せ9割と言っている方もおられるくらい、農作物は天候に左右される要素が多く、頭を悩ますところですが、今までに培った経験やスキルで出来るだけリスクを軽減することも可能かと思っております。

ハバネロ友の会事務局

## 収穫真っ盛りです。

### 目次:

事務局よりお知らせ	2
信州からの唐辛子便り	3
バン格拉ディッシュからの便り	5
岡さんのメキシコレポート	6
MUTTSUNN通信	7
児島さん投稿	8
ハバネロ料理	11

今年の傾向として全般的にやや小ぶりですが、台風の被害も少なかったため、これから収量が増えます。



多少、風により一部で葉がちぎれていますが、果実のほうの影響は殆どありませんでした。  
篠ファームハバネロ担当

**「ハバネロメルマガ会員」ご参加お勧めください。**

ハバネロに関心を持たれておられる方がお近くにおられましたら是非お誘いください。  
申込みは簡単で、ホームページより申込みに必要事項をご記入頂き、事務局へお送りしていただくだけで登録完了です。また、いつでも退会出来ますのでお気軽にお申込みください。  
メルマガ会員の方には特典も考えております。

[http://www.shinofarm.jp/habanero\\_tomonokai.htm](http://www.shinofarm.jp/habanero_tomonokai.htm)

会報誌の郵送ご希望の方は1年間分の郵送料と印刷代(モノクロ)・封筒代2,000円を申し受けますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。送金は郵便振替(払込取扱票)にてお願いいたします。

\* 口座は 00900-7-122727 ハバネロ友の会です。  
(振込み手数料はご負担ください。)

ハバネロ友の会事務局

**会員の皆様の宣伝コーナー開設いたします。**

ご自分の会社やお店の宣伝・自己紹介など、案内したい内容がありましたら  
どんどん投稿してください。行政関係の方も投稿お待ちしております。  
ハバネロ以外でも全く問題ありませんので、会報誌を活用していただけたら幸いです。  
原稿の締め切りは、毎月5日までお送りいただけましたら幸いです。  
当月の10日頃をめどに、会報誌に掲載して配信致します。  
原稿の送り先は、事務局( [info@kyoto-habanero.com](mailto:info@kyoto-habanero.com) )宛にお願いいたします。

ハバネロ友の会事務局

**「ハバネロなんでも質問コーナー」開設中**

事務局( [info@kyoto-habanero.com](mailto:info@kyoto-habanero.com) )宛にご質問いただければ、直接ご質問者にお答えすると共に、承諾いただいた内容は直近の号でも紹介したいと思います。  
匿名希望の方は「匿名希望」とお伝えください。

ハバネロ友の会事務局

## 信州からの唐辛子便り

信州大学大学院農学研究科 松島憲一

熊も猪も猿も唐辛子が嫌い。

信濃毎日新聞web版(平成23年8月18日)の報道によると、「8月18日午前5時20分ごろ、伊那市西箕輪の無職Tさん(80)が自宅前の畑で体長160cmほどの熊に襲われ、頭部から血を流して市内の病院に運ばれた。現場は市西部の中央アルプス山麓。田中さんは1人で作業中に襲われて家に逃げ、家族が通報した。田中さん宅の裏には林が広がっている。向かいに住む農業Sさん(83)は「この辺りは猪が多く出て畑を荒らしている。熊は足跡を見かけるが、これまで悪さはしなかった」と話した。市耕地林務課によると、市内で熊による人身被害は本年度初めて。17日までに目撃情報は8件あり、28頭が



捕獲されている。」(一部略)とある。私の自宅や職場からすぐ近い場所での出来事である。春の芽吹きと秋の実りの端境となる夏のこの時期は一年でも山にエサとなる植物が最も少ない時期であるため、熊や猪が農耕地に現れることが多くなる。動物たちにとってはちょうど山にエサのない時期に、畑には甘いスイートコーンや果物がたと有る訳で、人間の考える境界線などお構いなしで食べに降りてくるのだ。

これら獣害の軽減に向けて、我が信州大学農学部では「野生動物対策センター」を設置し(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/w-issues.html>)、専任教員二名により野生動物問題に関する研究や研修などを実施しているところである。これとは別に私も自分の専門の立場から、獣害このような動物と生産者とのせめぎ合う中山間地域において、唐辛子の生産をお勧めしてまわっている。我々人間と同じほ乳類である熊や猪や猿などは我々同様に辛味を感じることから、刺激の強いあの味を嫌うはずである。実際に熊よけスプレーの主成分がカプサイシンだったり、防獣ネットにカプサイシンを添加した商品もあったりする。ただし、熊、猪、猿は農作物でも人様と同じ部位、すなわち果実や芋を食べるので、唐辛子を栽培することで効果が期待されるが、鹿は葉っぱを食べるので果実だけが辛い唐辛子を植えても効果はあまり期待できないだろう。また、「唐辛子を柵のように畑の周囲に植えて獣害対策をしたいのだが」というご相談を何度か頂たことがあったが、これはお勧めできない。動物たちはそんなにバカではないので、余裕で唐辛子の柵を飛び越えて畑の中の作物を食べるはずだ。あくまでも、山林と接する中山間地域に果樹や畑作物の代替作物として唐辛子を生産することで、被害を押さえようというのが、私の考えである。

しっかりとした実証試験をしたわけではないが、実際に長野県内の例では中山間地域で唐辛子を栽培してみても被害が無いようだ。例えば長野県北部の中山間地域での産地形成を目指し、七味唐辛子の老舗、八幡屋礒五郎さんと共同研究で進めている現地栽培試験では、獣害の報告は全く聞き及んでいない。また、5月号でも紹介した長野県中野市の山あいで作られている伝統品種 ぼたんこしょう の生産者さんからも獣害の被害は聞かされていない。ただし、これから獣害対策で唐辛子を植えようと思っている人には注意して欲しい。ただ獣害対策で闇雲に唐辛子を栽培しても、作ったものが売れないと作る意味がない。是非、売っていくための仕組みや計画をしっかりと立ててから生産に臨んで欲しい。むしろ、こちらの方が難問かもしれないが。



さて、私が、もう一つ危惧することがある。人間の中には唐辛子の刺激に魅了されてしまって好んで大量に食べるようになった私や読者の皆さんのような人々がいるわけなのだが、そのうち、人間に近い猿あたりで、激辛マニアの個体があらわれて、猿のあいだで激辛ブームがおこり、遂には被害が拡大してしまうことにならないか？ということである。杞憂に終われば良いのだが....。

筆者サイト「喰いしごき調査委員会」(<http://saitamaya.net/carlos/>)

「喰いしごき調査委員会mixi版」([http://mixi.jp/view\\_community.pl?id=656317](http://mixi.jp/view_community.pl?id=656317))

twitter ([http://twitter.com/#!/CarlosThePepper](https://twitter.com/#!/CarlosThePepper))

## Bangladeshからの便り 9月号

最近、Bangladeshを訪れる学生が増えてきました。若者の間で海外離れが進んでいるというニュースを耳にしますが、ここBangladeshは毎年すごい勢いで増えています。理由は多く挙げられますが、Gramin銀行のノーベル平和賞受賞で有名になったことが第一かと思えます。国の開発を勉強する学生が一気にBangladeshに押し寄せています。

Bangladeshは、貧困国の割に比較的安全であり、繊維業を中心に勢いを増しており、開発を学ぶには最適の国であるようです。しかし、学生たちの思惑はそれだけではありません。勉強のためと言いながら、実はその後に控えている就職活動に繋がりたいと目論んでいる人も多くいます。

個人の理由はどうであれ、そんな人たちの助けになる本を出版しました。

「Bangladesh人もびっくり！超簡単ベンガル語学習 2011」

竹内僚 著

短期でBangladeshに滞在する方用に、発音はすべてカタカナで表記しています。

長期の方用には、「会話重視！ベンガリを話そう」「単語帳 ベンガリを覚えよう」もあります。

是非、Bangladeshにお越しの際は1冊お持ちください。

Ryo Takeuchi

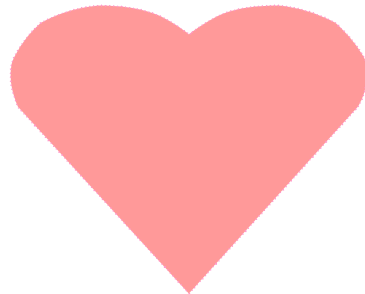


## 岡さんのメキシコレポート

お久しぶりです。メキシコから帰国して、早くも2カ月が経過しようとしております。岡です。今回は日本に帰ってきて感じた生活感覚の違いについてお話ししたいと思います。

もちろん文化が違うのですから、生活様式も大きく異なることは言うまでもありません。ましてメキシコと日本では12時間以上の時差がある、とても遠い国です。お隣の韓国や中国でも違うのですから、それは言うまでもなく180度に近いレベルで違うものだと言えらると思います。例えば、食生活を見てみると、アジアでは米を主食としている国が多いですが、中南米ではトウモロコシを原料とした、トルティージャ(国によって呼び名や形は異なります。)が主食になります。他にも水や安全は簡単に手に入るものだと思っている日本人とは違い、メキシコでは水も安全もある程度の金額をかけないと満足に得られない地域もあります。(私の場合は2週間水が止まったことがありました。ガスや電気もそのうちに入ります。)仕事の面でも、メキシコは非常にルーズです。日本のような几帳面さや先輩や取引先に対しての礼儀などは、ある程度まではあっても厳しいものではありません。日本人から見れば時間をあまり大切にしない人々に見えるかもしれません。このように様々な面で違うメキシコと日本ですが、私たちから見れば彼らの生活は信じられないものかもしれませんが、逆もしかりです。彼らにとっては頭を何度も下げたり、すぐに謝る日本人のことを奇妙に思っているのも間違いありません。どちらにも良いところ悪いところがあります。簡単に決め付けるのではなく、まずは一度受け止めてから違いを確認して、接することが人間的により豊かになれるポイントであると思います。

MUTTSUNN通信



食欲の秋、読書の秋、運動の秋。。。  
そして、そう、恋の秋です。

私の周りでは、結婚話も現実味を帯びてくる20代半ばから30代前半の青年たちの心が  
秋の始まりとともに、ほのかに赤く染まってきております。

10代の時のような奔放で、大胆で、恋愛に恋する恋愛が速度を落とし始め  
未来を見据えて真剣に交際を始めたたり  
今までの奔放さを反省してみたり  
でも同じ失敗を繰り返してしまったり  
それでまた反省したり  
好きな気持ちがとまらなくて  
ついつい、お顔がにやけてしまったり  
恋をしている人が側にいると、こっちまで一緒に高揚して、ドキドキしたりして…

将来の夢や、仕事の話、家族の話、趣味の話、どの話も面白いけれど、  
一番の酒の肴は恋の話。  
職種が違えど、出身地が違えど、趣味が合わずとも、年齢差もなんのその  
どんな人とでも、盛り上がれてしまいます。  
それに、なんだか年を重ねた方ほど経験値に表現力がプラスされ  
素直に、自分の感情を表現されて…かわいい  
おばあちゃんになっても、ニヤニヤしながらふやけた顔して、していきたいです  
恋の話

mutsumi

## ハバネロ通信 9月号

児嶋きよみ (office Com Junto主宰・立命館大学院生)

## 母を亡くして

先日、8月31日(水)の朝8時59分に私の母は、静かに息を止めていました。病院ではなく、自宅で訪問看護体制のもと、ゆっくりと死への旅立ちをしたと感じました。もしかするとこのような方法は、一般にはまだ、なじみが薄いのではないかと思い、自分の母親のケースながら、自宅での死の迎え方を書いてみることにしました。現在の日本の介護保険・医療保険を組み合わせたやり方で、必要のない、病院での末期の治療が避けられ、家族や友人で看取ることが、可能になってきています。



5日ほど経た今も涙が出るほど悲しいという感覚はありません。植物にも動物にも人間にも終わりがあるのだなあという実感があるだけです。

8月1日(月)

日赤で月に一回の検診を早めて受診

母は、抗がん剤をやめてから下痢や便秘を繰り返すためにさまざまな薬を出してもらう。(麻)と書かれた痛み止めも混じっている。

8月5日(金)

再受診で血液検査(歩くことがつらくなり初めて車椅子を使用)

ドクター・訪問看護師・包括支援センターのケアマネジャー・患者の家族・患者がカンファランスを持つ。

驚くことに大変フラットな、平等な形で意見を言い合うミーティングでした。医師は、出席者から求められて7年前の卵管ガンの手術から5年後の再発、そして2年後の現在まで淡々と経過の説明をしました。母も家族である私も、このようなやわらかな雰囲気になんか安心し、自分たちの思いを静かに話すことができました。時々、わからないと思っているのか、医師への質問に英語の単語「ターミナルケア」などが交じるので笑ってしまいました。



8月6日(土)

以前から計画していた父の米寿(88歳)を祝う会を開催。私の二人の娘たちの家族が全員集合し、父母の福井の自宅でごちそうを食べた。母は長いすに横になり、あまり食欲がないまま、8歳/5歳/3歳のひ孫たちの言葉や動きを見て笑っていた。



8月9日(火)

介護士センター・ケアマネジャー(包括支援センター)・ケアマネジャー(老人介護センター)・日赤訪問看護センター・訪問診療センター(オレンジケア)・家族も交え母の自宅に集まりカンファレンス

担当のケアマネジャーを決定し、ヘルパーさんの事業所と介護の内容の決定・  
訪問医師の決定と週に一回の訪問体制・  
看護師さんの週に2回の訪問決定・



8月10日(水)

ヘルパーさん派遣開始・母はだんだん料理ができなくなり、ヘルパーさんに料理を頼み はじめる。

8月12日(木)

電話をすると、「ひとりで父の世話がもうできない」ということで、私は、2日おきに福井と亀岡を往復。途中の電車の中では、もう到着しそうになるころに眠くなるので閉口する。

8月17日(水)

亀岡の老人介護施設を訪問後、福井へ。以後亀岡への帰宅せず。

8月19日(木)

医師より「知らせるべき人に知らせるように」と言われ、東京の弟や母の兄弟に知らせる。この日より看護師の訪問は一日に2回となる。訪問診療は、週に2回に。



8月20日(金)

南向きの部屋に介護ベッドの搬入。夜は自分の部屋のベッドで眠る。

8月21日(土)

寝室に椅子型の便座を借り入れる。

8月22日(日)

南側のサンルームの借り入れベッドで寝る。叔母と二人で続きの座敷で寝る。

8月23日(月)

「だるいのでトイレで用便をしなくても良い方がいい」と母が言う。手足がちぎれるほど痛いらしい。近所の20年来の書道の友人お二人がこの日くらいから毎日訪問し、手足をさすってくれる。帰りには、「明日また来るね。」といって帰宅される。

8月24日(火)

ほとんど、水分も食べ物も食べなくなるが、話はできる。兄弟が集まり、いっしょに横で食事をしていると「しっかり宴会してね。」と言う。

8月25日～31日まで

水分も取らず、むくみが減ってくる。体中の水分を使っているらしい。この間、訪問看護士さんたちがベッドの上で、風呂に入ったようにきれいに拭きあげる。大汗をかきながら。ヘルパーさんたちもおむつの交換がうまい。私たちは体位の変換が重くてできない。なぜか、安定した息遣いが続き、しんどそうにみえない。

8月31日(水)

午前8時59分に弟が「息をしていないみたい」と家の中の片付けと整理をしていた私を呼びに来る。息を吹き返すかと胸のところをさするが、無理。訪問看護士センターに電話し、15分後に到着。看護士が訪問診療の医師に電話連絡。5分後に医師が到着し、死亡を確認。

お寺さんに連絡・葬儀センターに電話・ベッドの貸し出し会社に、引き取りを依頼。親族に連絡。葬儀社との打ち合わせ・お寺さんが枕経をあげる。

9月1日(木)

通夜・葬儀社で午後6:30から

9月2日(金)

午前9:30から葬儀 10:30閉式 11:00火葬場へ

12:00直会(なおりい)・12:50(骨拾い)・2:00寺へ納骨のため移動

4:00終了後寺から帰宅へ

あまりにも速い病気の進行と、毎日の看護士さんやヘルパーさんたちの協力で、めまぐるしくあっという間に過ぎたひと月でした。毎日、何が起こるか予想する間もなく、母の看病と父の介護が始まり、何も知らなかった自分に驚いていました。同時期に帯状疱疹を罹患した父は、急速に眠る時間が増えていました。夢を見ていれば、仕事の話ばかりのようで、「それでは給料が出ないんですよ。」と大きな声で電話をするまねをしていたり。この間、母の兄弟姉妹の協力で、台所の瀬戸物など大きな不要の物を仕分けて捨てていきました。上の棚も下の棚もすっかり物が無くなりました。毎日、毎日仕分けの日々が続いていきました。ようやくきれいになった今、母を失った父は、もう一人住まいは無理のようです。こんどは、父の今後をどのように見守るかのプロジェクトが始まったような感覚です。母からの遺言などはありませんが、父を見守ってほしいというのが、母の願いと受け止めています。孫やひ孫のいる京都の亀岡でのくらしをどう立ち上げていくかが最新の課題であり、福井市と他の市町村とのちがいも浮き彫りになって来るはずです。

また、自分も含めて、老いるということはどのようなことなのかを見つめ、母を失った父が通常の暮らしに戻れるかどうかも課題のひとつです。

8才のひ孫は、葬儀の日の母の変わり果てた顔とつい、20日ほど前に会って話していた母と同一人物であるという現実を受け止めかねて怖がっていました。生き物には終わりがあるということを、私自身も彼と同様、目の当たりにし、はじめて、感覚として理解した気がするのです。毎夜、朝方になると決まって目が覚め、ぼんやり横になりながら現実を考えていました。



## ハバネロ友の会 事務局

〒621-0008  
京都府亀岡市馬路町狐瀬20-1  
篠ファーム内

[info@kyoto-habanero.com](mailto:info@kyoto-habanero.com)

Fax 0771-24-7885



## 「ハバネロなんでも質問コーナー」開設中

事務局( [info@kyoto-habanero.com](mailto:info@kyoto-habanero.com) )宛にご質問いただければ、直接ご質問者にお答えすると共に、承諾いただいた内容は直近の号でも紹介したいと思います。  
匿名希望の方は「匿名希望」と伝えてください。

## 会員の皆様の宣伝コーナー開設いたします。

自分のところの会社やお店の宣伝など、案内したい内容がありまましたら是非、投稿してください。行政関係の方もどんどん投稿してください。

ハバネロ以外でも全然問題ありませんので、活用していただけたら幸いです。  
原稿の締め切りは、毎月未までに頂きました原稿は、翌月の10日頃をめどに、会報誌に掲載して配信致します。

原稿の送り先は、事務局( [info@kyoto-habanero.com](mailto:info@kyoto-habanero.com) )宛にお願いいたします。

ハバネロ友の会事務局

## ハバネロ料理コーナー

### 春巻き

#### 材料

春巻きの皮、豚バラ肉5枚、玉葱1個、  
人参半分、茄子1個、卵1個、小麦粉少々、  
水少々(小麦粉を水でとく)揚げ油、調味料(鶏  
がらのブイヨン、塩、胡椒、)胡麻油

#### 作り方

野菜はすべてスライスに切る、豚肉も千切り  
のする。  
フライパンに胡麻油を野菜、肉をいためしんな  
りしてきたら、卵を溶きほぐしたのも入れる。



鳥がらブイヨン、塩、胡椒で味をつける  
中身はさます、さめたら春巻きの皮で包む、包  
むときに、春巻きの皮の回りに水溶きの小麦粉  
を塗り巻いていく。  
最後は少し高い目、油で揚げる。  
お好みにラー油やポン酢で。